



マルト便

MARUTO INFORMATION

ホームページが新しくなりました

マルト商事

検索

お客様の笑顔のために...

チャレンジ

4月号 MAR 2016

<http://www.maruto-shoji.co.jp>



軟腐



分球

3月上旬JAからつ様

早生品種は状況まずまずですが、軟腐病(中生種)、分球(早生種)が散見された。病気については今後の防除を徹底して作柄回復に努める。

4月4日～6日弊社担当巡回予定

気になる佐賀県産玉葱の予測

桜が満開の季節になりました。関東でも3月31日に満開宣言が出されました。今年は若干気温も低く桜を長く楽しめるのが特徴だそうです。いつも気になるのですが、桜の開花予想、満開日予想はどのように予測しているのでしょうか。

予想を出す会社さんは各種統計データを駆使して開花予想を行うそうなのですが、シンプルに「600度の法則」というものがあるそうです。2月1日以降の最高気温を毎日足していき、600度を超えるところが開花日となるというものです。桜は夏の終わりころに休眠状態に入り、冬期に一定期間低温にさらされると休眠状態から覚め、その後、気温上昇とともに生育し積算温度に達した時点で花を咲かすのだそうです。この600度の法則、的中率はなかなかのものだそうです。個人でも簡単にできますので来年は試してみてくださいは如何でしょうか？

さて、桜の予想のように精度が高く作柄の予測をしたいのですが、なかなか難しい今期の府県産玉葱です。3月上旬の佐賀JAからつ様訪問時には、4月出荷の早生タイプについては、分球が多い傾向でしたが、収穫量はそこそこあるのではないかと予測をしておりました。本格的な出荷はこれからとなりますが、現時点ではまずまず予想通りとなっております。

心配なのは中晩成種の玉葱です。昨年11月までは非常に温暖な気候で苗の生育が早く大苗傾向を危ぶんでいたのですが、12月の定植時期に入ると今度は急激な低温。ちなみに定植苗の大苗化は玉葱の分球に影響があるといわれ、定植時の低温は抽苔の可能性が高まるといわれています。また、年明け以降は比較的温暖な気候条件で推移しています。病害虫の発生も気になるころです。しかし、JAからつの生産者様は皆高い栽培技術を持っていらっしゃいます。しっかりと対応して頂けることを信じております。また、玉葱は収穫前の天候でガラッと作柄が変わる作物です。4月中旬から5月頭までの佐賀県からつ地区の天候から目が離せません。なんとか順調な生育に推移して欲しいものです。

4月4日現在最新の情報ですと、中晩成種の玉葱もまずまず順調に生育しているという報告が弊社担当から入電しております。今後の天候次第ですが、少しほっとしている状況です。

先般お伝えをしている中国産玉葱の動向も若干落ち着いてはきたもののまだまだ例年とはかけ離れた価格での流通が続いています。我々も様々なデータを収集・解析し、桜の開花のように精度の高い予測に基づき、お客様へのご提案ができるように努めて参りたいと思います。

玉葱粗選別 & 外葉除去ラインを新規導入

3月27日に新しい設備が入りました。玉葱の粗選別をする工程と外葉を除去するラインになります。導入の目的は大きく2点です。

1点目は生産者様の労力軽減です。本設備導入により玉葱の受け入れ規格の幅が広がります。生産者様で行って頂いていた粗選別作業がある程度ですが弊社でも可能となります。生産者様の作業を省力化することで、より生産者様に玉葱を出荷して頂きやすくなることと思います。

2点目は弊社剥き玉葱加工ラインでの加工品質向上です。外葉を予め除去することで泥の付着等が軽減されます。また弊社ラインの特徴である自動化の精度が上がることを期待しています。

今後も生産者様、お客様に喜んでもらえる仕組み作りを継続して行っていくしますので、ご意見等頂けますと幸いです。



課長

営業 中村のマルチ便PLUS! Ver2016

今月もどうぞよろしくお願いいたします。
4月のマルチ商事玉葱産地情報&見通しをお届けします!



取扱産地	産地状況 & 今後の見通し
国産	北海道産の入荷は順調ですが、例年よりも早く、発芽、発根を伴う品質劣化始まっております。収穫前の雨で余計に肥大したためなのか、冬の気温が高かったためなのか、明確な理由は分かりませんが、劣化が早いいため保管に細心の注意を払う必要があります。5月末ころまで北海道産がメイン産地となりますので、引き続き良品をお届けできるように管理してまいります。
中国	3月末、中国産玉葱は過去にない暴騰を見せ、全く手を付けられない価格になってしまいました。甘粛省産の切り上がり、雲南省の出遅れなどいくつかの要因が重なっておりますが、予測がつかず苦勞しております。多少の落ち着きは見せたものの、予想よりも高値で推移しており、使用しやすい価格に戻るのはいつなのか不安が続きます。品質は終盤の甘粛省も出始めの雲南省も良好です。
NZ(黄玉、赤玉)	アメリカ産については黄玉は2月で終了、赤玉葱も3月でほぼ終了となり、ここからはニュージーランド産がメイン産地となります。ニュージーランド産の玉葱は世界的な玉葱不作が影響により、世界中から引き合いが強く、高値で取引されると見られております。品質は良好です。

※本記事に関するご要望・改善等ございましたらお気軽にご連絡ください。
お問い合わせはコチラ⇒TEL049-258-5315